

## Q 佛圓議員 町内巡回バスの運行の見通しは。

A 解決すべき問題が多く早急には困難。  
(石井企画課長)



Q 広電熊野線は阿戸行き等の便を大幅に減少した。以前からバス路線のない地域から町内巡回バスの運行を望む声があるがこれについて町はどのように考えているか。

A バス便の減少は利用者数の減少などから利用実態に応じた輸送の効率化を図っているようである。町内巡回バスについては、昨年からいろいろと検討しているが、道路幅、既存バス路線との競合、運行のための費用など多くの問題がある。これら諸問題を解決しなければ実施は難しいが、引き続き検討していきたい。

## Q 山野議員 平成17年度予算編成の基本姿勢を問う。

A 前年度比の10%減の予算削減を基本とする。  
(平本町長)

Q1 平成17年秋には義務教育費、国民健康保険の補助金がカットされるが、本町における平成17年度の予算についてはどのような財政改革を考えて編成されるのか。

A1 全国的には景気回復傾向にあるものの、三位一体の改革などで自治体にとっては依然厳しい財政状況である。町においても健全な財政運営を維持するためには事業の見直し等が必要であり、平成17年度の当初予算編成にあたっては住民サービスの低下とならない経費削減の方法を模索しつつ、各種事業の見直し、業務の改善について検討し、義務的経費を除く経常一般財源を対象に前年比で10%の予算削減を行う。

Q2 本町は公共施設の建設が進んでおり、今後これらの維持管理の合理化が求められると思うが、何らかの施策は考えているか。

A2 図書館や健康センターなどの各種施設の設置運営を通じて、住民の皆様が誇りや愛着を感じ、町外の方々にも「住みたい」と感じてもらえるような魅力あるまちづくりを推進している。これに伴う施設の維持管理費や人件費などは徹底して経費削減を行っていく。また、施設の管理はNPOなどに任せる「指定管理者制度」の活用も視野に入れて、限られた予算で良質なサービスを提供できるように努めていく。